

湖南高校だより

湖南で探究、3本の柱

今年度もコミュニケーション・スクールの取り組みが始まりました。昨年度の取り組みと令和三年度の学校運営協議会の協議内容を踏まえつつ、活動方針を各学年に落とし込んだ「地域カダイ探究」「地域ミライ探究」「自分ミライ探究」の三本の柱で活動して参ります。この他、5月6日は郷土料理研究会での催しや部活動での大会結果など様々な話題がありましてぜひとも本紙をご覧ください。

地域カダイ探究

三本の柱の一本目「地域カダイ探究」に挑むのは元氣一杯の一年生。一年生の目標はただ一つ「湖南について知ること」です。六月十七日の地域カダイ探究では、「地域の方へのヒアリング」を行いました。地域に根ざした仕事の魅力や具体的な活動などを聞き、疑問点や興味のある点を質問する中で、生徒たちはまたひとつ湖南について知識と理解を深めました。



地域の方へのヒアリング。湖南の良さ、湖南で働く魅力について聞く一年生たち

地域ミライ探究

二本目「地域ミライ探究」に取り組みのはチャレンジ精神旺盛な二年生。今年のコミュニティ・スクールの中心となる活動は二年生にかかっています。活動内容は地域の未来を見据えたそばの六次化と古民家を再生することの二つです。これをA・B二班に分かれて実践していきます。

A班 そば六次化

A班は湖南の特産品であるそばを用いた六次化（生産から加工、販売まで）を目指す十名の班です。初回では、昨年の「そばレシピコンテスト」の経験を活かしてレシピの試作を行いました。二時間という短い時間の中で「そばケーキ」「そばチュロス」「そばの種」「そば団子」の計四品を完成させることが出来ました。



右上から時計回りに、そばケーキ、そばチュロス、そばの種、そば団子。

さらに六月の活動では、四品を二品に厳選する会議を行いました。自分たちの力で作り上げた作品だけに話し合いはヒートアップしましたが、多数決で決めるのではなく全員が納得する形で最後まで議論し、「そばケーキ」「そば団子」の二品で六次化を目指すことが決定しました。今後A班は、地域のお店の方に協力を頂きながら六次化に向けたプレゼンテーションなどの準備に取り組みます。

行立 島田 尚志 校長
 発 島田 尚志 校長
 訓 誠実 勤勉 協同 高志 自律



熱い議論を繰り広げるA班の生徒たち



天井の板と梁（はり）を解体する様子

B班 古民家再生

B班は湖南の魅力や情報を発信していく拠点として学校近くの古民家の改修・再生を目指す九名の班です。最初に行ったのは、古民家の天井や壁の解体作業です。力仕事や複数人で協力しなければ解けできない作業が多く、普段使い慣れていないボールやハンマーといった道具に戸惑いつつも、あつという間に慣れて主体的に作業に取り組み始めました。普段のおとなしい様子とは異なり、大人顔負けで作業を進めていく生徒もおり、一人一人の秘められた可能性を感じられる素晴らしい機会となりました。



進路学習会に臨む3年生たち

自分ミライ探究

探究活動のゴール、三本目の「自分ミライ探究」は三年生が取り組みます。地域探究での経験や成果を自分の将来と結びつけ活かしていくことが求められます。六月二十四日（木）は「進路学習会」として株式会社さんぽう様から講師を迎え、面接指導や挨拶・日常マナーといった進路対策を行いました。日々の教科的知識とは異なりますが、今まで地域探究で校外の方々と接してきた三年生は、積極的にコミュニケーションをとりながら進路



壁表面の素材を剥がす作業の様子

た。B班の解体作業は一学期で一段落となり、次回からは自分たちが作り上げる場所をどう活用していくかを話し合っていきます。破壊から再生へ、生徒たちの想像力と協調性が試されます。

郷土料理研究

今年度、コミュニケーション・スクールの一環として「郷土料理を学ぶ」取り組みが始まりました。六月十七日（木）に行われた記念すべき第一弾は「ちまき作り」です。講師には、地元郷土料理研究家である菅野洋子さん、渡部幸子さん、西田忍さんをお招きしました。材料である笹は生徒たちが前日から集めたもので、殺菌して乾かす行程なども全て生徒自身で行いました。当日は初めて行う作業にかなり苦戦していましたが、何度もやり直したり、講師の方々に質問したりすることで次第にコツを掴んでいき、形も結びも整った三角ちまきを作ることが出来るようになりました。その数なんと四百超、目標だった三百個を大きく上回り、あつ



真剣な表情でちまき作りをする生徒たち



こんなに出来ました！

部活動

五月七日（金）から開催された福島県高等学校体育大会県中地区大会ポード競技において、女子ダブルスカルと男子舵手付きクオドルの二艇で見事優勝を勝ち取りました。一年生は緊張しながらも最後まで息を合わせて漕ぎきり、二・三年生はこれまでの練習の成果を実感できた大会となりました。五月二十九日（土）から始まった県大会においては、女子ダブルスカルで三位、女子シングルスカルと男子舵手付きクオドルがそれぞれ決勝進出という最終成績となりました。今回で引退となる三年生の樋口愛さん（湖南小中出身）からは「ポード部の活動を通して、言葉で言い表せない達成感を得ることができました。支えてくれたみんなに感謝しています」と三年間の振り返りと後輩たちへの思いを伝えて



ソフトテニス部3年生集合！！



ポード部全員集合！部長を務めあげた三年生の樋口愛さん（左端）

ソフトテニス部

五月十五日（土）から行われた福島県高等学校体育大会県中地区大会において、男子個人戦の阿部凌大（湖南小中出身）・遠藤洗太郎（大槻中出身）ペアと男子団体戦のそれぞれで県大会出場を勝ち取りました。六月四日（金）から行われた県大会本戦では個人戦・団体戦ともに二回戦で敗れましたが、最後まで挑戦することを忘れず、次に繋がる大会となりました。また、六月二十二日（火）から行われた福島県総合体育大会県中地区予選では、三年生の高橋優斗君（高瀬中出身）が郡山北工業高校の生徒とペアで挑み、見事県大会出場権を獲得しました。大会後引退する三年生を代表して部長の阿部凌大君は「やらされてる部活は何も身につ

につきません。主体的に行動して頑張ってください」と後輩を叱咤激励しました。

編集後記

▼六月三日（木）と六月十五日（火）の二日間で学校の花壇整備を行いました。▼一回目は除草や石拾いの後土おこしをし、二回目は会津農林高校農業園芸科の皆さんが育てた素敵な花苗の植え付けをしました。▼今年度は校庭側のネットのスペースを活用したプロジェクトも進行しております。湖南高校にお立ち寄りの際は、美しく彩られた花壇をぜひご覧ください。（猪苗代子）



花の植え付けをする様子

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃおう』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

湖南高校まるわりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。